

会 議 録

会議名	令和 7 年度 第 3 回 東林地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	南区役所 東林まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 4 4 - 5 1 8 7 (直通)			
開催日時	令和 7 年 1 0 月 2 2 日 (水) 午前 1 0 時～午前 1 1 時			
開催場所	東林公民館 大会議室			
出席者	委 員	1 6 人 (内、代理出席 1 名)		
	その他	4 人 市職員 (廃棄物政策課、資源循環推進課、清掃施設課)		
	事務局	2 人		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人	
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第	1 あいさつ 2 相模原市役所からの説明 3 議 題 令和 7 年度東林地区まちづくりを考える懇談会について 4 その他 5 閉 会			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

根岸監事の司会により進められた。

1 あいさつ

田村会長から挨拶があった。

2 相模原市役所からの説明

・廃棄物政策課、資源循環推進課、清掃施設課より、本市の廃棄物行政の現状と課題についての説明資料が配付され、資料に沿って説明があった。

《主な意見、質問》（○；委員の意見、質問 ●；市職員の回答）

○ごみの総排出量では横浜市や川崎市より多いとあるが主な理由は何か。

●具体的な理由については現在確認中である。横浜市や川崎市は有料化を行っていないが、他の政令市では、すでに製品プラスチックの資源回収を開始しているところや有料化を開始、分別品目が本市と異なる等の実情があるということなどを現段階では分析の一つとして見ている。

○第1期前の状況、次期の予定地等があれば教えていただきたい。

●第1期前の状況については、確認させていただき、後日回答する。次期の最終処分場候補地として、現在、市内4か所に絞っているところであり、引き続き、地域の方々と話し合いをさせていただくなどして、最終的に最も有力な1か所にしぼっていく予定である。

○最終処分場を必要としない日常とあるが、そのために市として、資源化等にどのように取り組まれていくのかを伺いたい。

●まずは分別を徹底し、焼却灰が出ることを極力少なくしていきたいと考えている。そういった取り組みを行った上でどうしても残ってしまう部分を民間企業等に依頼し、焼却灰の熔融資源化やコンクリート製品にしていくなど、一層の資源化を進めていくことを考えている。

また、資源化を行うにしても、現状のごみの量を資源化するとかなりの歳出が見込まれるため、ごみの量を減らし歳出を削減したい。

○ごみ袋を有料化している市町村も多くある。そうすることでごみ袋に入れるごみの量を減らそうとする行動につながると思うがそのような検討はされているのか。

また、汚れているペットボトルについては資源としてではなく、プラごみに回されるということを聞いたことがある、そういったことをもっと市民に周知し、資源化に協力いただければごみの減量につながると考える。

●ごみ袋の有料化については、現在、審議会で議論をしており、審議会からの答申もふまえ、今後、庁内でも議論をしていく。

また、ペットボトルについては、令和8年10月から回収日を別に設け、資源化を推進していくところである。今後、各地域に伺い、丁寧に説明を行い、今まで以上にごみの減量化、資源化へご協力いただきたいと考えている。

なお、現在ごみ減量等を啓発する動画を10本配信している。積極的な周知を行い、より資源化に繋がるようにしていきたい。

○関心のある方については、動画配信などオンラインでの周知で良いと思うが、関心のない方には対面で講座を開くなど直接説明することもあると思うがどうか。

●コロナ禍も明け、現在、公民館での講座も実施している。ご用命いただければ、積極的に伺いたいと考えている。

○こどもたちはレモンちゃんなどのキャラクターが大好きなので、うまく活用いただきながら、こどもたちへの周知を積極的に行っていただきたい。

●例年、市内の全小学校を回らせていただき、4年生を対象とした講座を開催している。また、ご依頼いただいた幼稚園や保育園等にも出向いて講座を開催し、積極的な周知を実施させていただいている。

○現在、ペットボトルは資源化されているのか。

●市内2カ所の間処理施設で手選別と機械選別で分別して、プラとペットボトルそれぞれで資源化されている。現在、ペットボトルは容器包装プラと同じ日に回収しているが、来年の10月以降はペットボトルの回収日を別に設け、引き続き、資源化を実施していく。

- ・東林まちづくりセンターより、相模原市地域活性化事業交付金見直しについての説明資料が配付され、資料に沿って説明があった。

3 議 題

令和7年度東林地区まちづくりを考える懇談会について、根岸監事、東林まちづくりセンターから、以下の説明が行われた。

- ・懇談会の全体の進行、司会等の役割分担、時間配分等
- ・テーマシートについて

- ・ テーマシートを補足する資料について
- ・ 東林地区まちづくり懇談会における主な質問事項について

各委員から意見を伺い、東林地区まちづくりを考える懇談会での役割、テーマシート、テーマシートを補足する資料、テーマに対する主な質問事項等について、審議が行われ、原案に次の修正を加えたうえ承認された。

また、テーマシート等、市へ提出する資料に加え、追加資料として「テーマシートを補足する資料」を市へ提出することが承認された。

《修正内容》

- ・ テーマシート
テーマシート内の概要の一部について、「生活できる、具体的な供給能力」から「生活できる具体的な供給能力」へ修正
- ・ 東林地区まちづくり懇談会における主な質問事項
災害時に踏切が遮断された場合の影響について、物資輸送だけではなく市民の避難経路についても影響するということを追加する。

《主な意見》

- ・ 災害時に踏切が遮断され、アンダーパスのみ利用ということとなった場合の影響については物資輸送だけではなく市民の避難経路についても影響すると考えられる。
- ・ 今回の懇談会では多様な避難体制や備蓄等の供給体制等の供給能力に主眼を置きたいと考える。
- ・ 災害への対策として、自治会の防災備蓄状況について、各自治会に確認してはどうか。

4 その他
特になし。

5 閉 会

以 上

東林地区まちづくり会議 委員名簿

〔◎：会長 ○：副会長 ◇：監事〕

No.	団体名・役職等	氏 名	出欠
1	東林地区自治会連合会	◎田村 久司	出 席
2		◇吉村 建志	欠 席
3		◇根岸 秀生	出 席
4	東林地区社会福祉協議会	○阿部 匡秀	出 席
5	東林地区民生委員児童委員協議会	○村田 定志	出 席
6	東林公民館	○飯田 生馬	出 席
7	青少年指導委員	代 表 吉岡 美保	出 席
8	上鶴間中学校	代 表 嶋野 智文	出 席
9	東林小学校 P T A	代 表 西村 弥生	出 席
10	上鶴間中学校 P T A	代 表 鎌田 信行	出 席
11	社会福祉施設（清菊園）	代 表 平塚 裕之	出 席
12	東林第 2 地域包括支援センター	代 表 土川 早苗	代理出席
13	東林地区老人クラブ連合会	代 表 遠藤 裕	出 席
14	東林地区交通安全母の会	代 表 野崎 美沙	欠 席
15	防犯指導員	代 表 長谷川 昌夫	出 席
16	保護司会（南保護区）	代 表 吉本 真人	欠 席
17	防災専門員	代 表 高木 博見	出 席
18	スポーツ推進委員	代 表 阿部 智恵子	出 席
19	東林地区健康づくり普及員協議会	代 表 小澤 次男	欠 席
20	東林間商店街振興組合	代 表 村松 祥子	出 席